

どこまでも続く森林

支笏湖の周辺は青々と茂った深い森林で覆われています。より低地の樹木の大部分はエゾマツやトドマツ、モンゴリナラやハルニレといった落葉樹です。より高地に行くと針葉樹（常緑樹）へと変わり、つまりこのエリアが年間を通して緑色に見えることを意味しています。このような緑が著しく欠けている唯一のエリアが、樹木限界線の低さで知られるより活発な活火山です。支笏湖のすぐ南に位置する樽前山は何世紀にもわたって火山活動を続けており、その樹木限界線はわずか標高 600 メートルで、それより高地には植生がほとんど見られません。